

## アフリカツメガエルの逃亡防止を考慮した飼育方法

### 成体（変態後の小ガエルも含む）

- ・カエルは建物内の実験室（あるいは飼育室）で飼育する。
- ・カエルの飼育水槽にはフタを設置する。
- ・フタを設置しない場合は、水槽の上部に「カエル返し」を付けるか、水面を水槽の上部から 15cm 以上取る。
- ・実験室のドアは、必要時以外は閉める。また実験室の入り口に高さ 15～20cm 程度の「カエル返し」を設置する。
- ・カエルは、麻酔薬（MS222）に浸す等、動物愛護上適切な方法を用いて安楽死させてから廃棄する。
- ・飼育室内には、捕獲用の網を準備する。

### 胚・幼生

- ・水槽の水換えを行うときは、流しの排水口に逃亡防止用の目の細かいトラップを設置する。
- ・死亡した胚・幼生は流しに直接廃棄するのではなく、三角コーナーに目の細かい不織布を設置し、そこで回収してから廃棄する。またこのときも、流しの排水口に目の細かいトラップを設置しておく。
- ・胚は、ハイター入りの廃棄タンク、あるいは冷凍庫に保存してから廃棄する。幼生は、麻酔薬（MS222）に浸す等、動物愛護上適切な方法を用いて安楽死させてから、上記に従い廃棄する。